

## No.1895

12月22日例会 プログラム 「上半期を終えて」 会長 樋田 正則 幹事 三宅 孝治
1月5日例会 プログラム 「年頭にあたって」 会長 樋田 正則 幹事 三宅 孝治
12月22日のメニュー ・白身魚グリル和風オニオンソース ・ポテトサラダ ・野菜スープ ・リンゴの赤ワイン煮 ・コーヒー

## 前回(12月15日)例会記録

出席報告	会員総数	39名(内出席規定適用免除者2名)	出席者数	27名	欠席者数	10名	出席率	72.97%	前回補正率	83.78%
	前回補正者	緋田君 林君 島田君								
	欠席者	藤原君 花岡君 東川君 井上君 三谷君 仲田君 中山君 大久保君 立石君 山田(次)君								

### 会長挨拶

こんにちは。例会出席ありがとうございます。今年の例会も残り2回となりました。私の「岡山弁で語ろう、藤田の昔話」の講座のお話をします。先日、小学生がお年寄の皆さんへということで質問があり、その中で昔の携帯電話はどういうものでしたかとの問いがありました。携帯電話はここ10年ぐらいのものですが小学生にとってはテレビと同じように生れてからいつも一緒にあるものと考えているようでした。またダイヤル式電話の使い方も分かりませんでした。正月にはお孫さんも来ると思われますので、一度昔の生活の話をされてはいかがでしょうか。お孫さんも昔の生活にはびっくりすると思います。話している私たちもびっくりすることがたくさんあると思います。正月の過ごし方のアドバイスについて少し話をさせていただきます。以上会長挨拶と致します。お食事をどうぞ。

### 会長報告

- ・「宇野港の桜公園、桜の並木道」の第1回打合せがありました。玉野RCは2本植樹します。改めてご案内いたしますが、植樹は3月11日(日)の予定です。

### 幹事報告

- ・1月28日(日)ホテルグランヴィア岡山にて開催されます第10・11グループIM参加について、出欠表を回覧させていただきますのでご協力下さい。尚、当日はバスを用意いたしますので出来るだけ多数の方の参加をお願い致します。また、IMパネルディスカッションのテーマ「クラブ強化を考える」におけるフロア発言者1名の推薦依頼が来ております。
- ・岡山南ロータリークラブより社会奉仕事業への出席協力のお願いが来ております。  
日時：平成19年2月17日(土)、場所：コンベンションセンター(ままかりフォーラム)  
基調講演：小池 百合子氏 セミナーコーディネーター：鈴木 克徳氏  
参加者数は一般の方々500人以上、ロータリー関係者の方々200人以上を目途とされており、当クラブより2~3名の参加依頼が来ております。
- ・ロータリーの友事務所より当クラブのホームページを友事務所のホームページにリンクすることへのリンク承認状が来ております。
- ・他クラブの週報・例会変更通知は回覧いたします。

### スマイル・ボックス

- ・富永君 - 三宅(保)さん、お花をいつもありがとうございます。
- ・高橋(秀)君 - 忘年例会ではお世話になりました。本日早退。
- ・石川君 - いつも皆様にはご利用、ご協力ありがとうございます。
- ・島田君 - 忘年例会欠席。名鑑持ち帰り。
- ・林君 - 前回欠席

### 年次総会

- ・当クラブ会員総数39名、本日の出席者数は27名、クラブ細則第4条第3節の規定により年次総会は成立。  
松尾副会長より2007~2008年度の理事・役員の選出について指名発表され、満場一致をもって選任されました。

**プログラム** 「みんなでできるごみ減量化行動計画」 谷口 康則君

配布資料「市民のごみ減量化行動計画」は玉野市生活環境課が窓口となって市民の啓蒙活動のために発行しているものです。平成 17 年度、玉野市内で年間 26,000 トンのごみが排出されています。これは事業所廃棄物を含むもので 1 日一人当たり 1,056 g になりますが、一般家庭ゴミでは 798g/人・日となっています。平成 12 年からの統計では平成 12 年 26,200 トン、平成 17 年 26,300 トンと全体の量は殆ど変わっていません。玉野市の人口が減少していることを考慮すると一人当たりのごみの量は増えていることとなります。このような状況の中でゴミの減量化が全国的に叫ばれているわけです。

環境問題は深刻になってきています。このまま行くと資源はいつかなくなります。また最終処分場の埋め立て容量も心細くなってきている中で、リサイクルが謳われ、ごみの分別が厳しくなりました。一昨年より古紙、廃プラについても分別が始まりました。これにより可燃ごみが減少したと聞いておりますが、トータルのごみ排出量は変わっていません。玉野市では平成 22 年までにごみ排出量 5%削減を目標にしています。年間 1,330 トンの減量が必要で、家庭ゴミでは 1 日一人当たり 40g の減量が目標となります。またゴミの資源化率は現在 18%ですが、平成 22 年までに 24%までに高めることを目標としています。リサイクルプラザでは古紙と廃プラを処分し資源化を進めていますが、コストが高くつくこともありリサイクル率が上がっていません。リサイクル推進は国、玉野市の方針でもありますので、皆様もリサイクルという意識を持って分別を進めていただきたいと思います。

分別については判断に悩む時もあると思います。例えば発泡スチロールについては家庭ゴミでは一般廃棄物の可燃物ですが、断熱業者から大量に出る場合は産業廃棄物になり、同じ材料でも処理が変わります。食品のトレーは容器包装法により廃プラで出していただくこととなります。ごみのことで不明な点がありましたら私の方へお問合せをいただき、ごみの排出削減と資源化についてご協力をお願いいたします。